

# 福生市町会長協議会 会報

# ちいさ

〈発行〉 福生市町会長協議会 会長 笹本 誠一

## 町会・自治会では、地域の活性化や 人と人とのつながりのために、様々な活動をしています。

5月

輝きフェスティバルで《あいさつ凧づくり》をしました。100個もの手作り凧が空を舞いました。



4月

交通安全運動期間中のあいさつ運動です。



7月

毎年恒例の福生の夏祭りです。



10月

福祉まつりで《ぶんぶんゴマづくり》をしました。カラフルなコマを上手に回せました。



7月

大人から子どもまで大勢の人が盆踊りに参加します。



## 《地域の組織力アップを目指して》

## 講演会 協力できる地域づくり

平成24年9月15日(土) 市民会館 小ホール

## 地域に密着した町会・自治会活動

昨今、ライフスタイルの変化によって、地域住民の関係が希薄化し、町会・自治会への関心が薄れつつあります。

講演会では町会・自治会といった地域コミュニティへ関心をもってもらい、協力できる地域づくり・まちづくりについて考えました。

## 第一部 講演会

## 「地域に密着した町会・自治会活動」

第一部の講演会では、法政大学法学部の名和田教授を講師に迎え、東日本大震災から見えてきた教訓やこれからの町会・自治会の在り方についてお話いただきました。

## ◆講師◆

名和田 是彦 氏

(法政大学法学部教授)

東日本大震災後の大混乱の中、地方政府(自治体)の機能が崩壊しているにもかかわらず、落ち着いた行動ができたのは、町会・自治会が機能していたためです。

もともと地域コミュニティの単位であった市町村が明治、平成の大合

併により身近な地域コミュニティに制度的な空白ができてしまいました。

そこで、民間の力だけで政府に類似する町会・自治会が機能しました。地域に秩序をつくる際に重要となるのは「みんなが入っている」ということです。みんなが入っているから会費が課税の替わりになり、会則が条例の替わりになり政府の代わりの機能を果たします。

しかし、近年は加入率の低下が課題となっています。この加入率の低下の課題解決のために町会・自治会ができる新しい挑戦として、地域福祉計画を新しい取り組みのきっかけとし、若い人たちのニーズに応える活動や、高齢者や子育て世代のサロン活動を実施し、今まで地域の中でつながりのなかった人たちに仲間を増やしてもらえるようにすることがあります。また、防災活動の見直しや、若い世代に目を向けた学童への支援やPTAとの連携があります。

特に、色々な人とながら、出会い、仲間になることが大事な事だと人々が気づきはじめている中、地域の顔の見える交流拠点づくりを町会・自治会でも取り組むようになってきています。仲間内だけでなく、不

特定多数の人に開かれた場(公共の場)の提供となります。

そこでは誰でも一定のルールを守りさえすれば、人として尊重されます。これは今後の仲間を増やしていく要諦だと考えられます。その行く先には福祉文化が尊重される地域となりうるのです。

最後に、地域で活動をしている人の中には、NPO活動などパワフルで漸進的で情熱的な人々もいますが、一方、誰もやりたがらないことを粛々とやっている人、まさに政府の役割をやっている人がいらっやいます。その人々こそが地域の基礎を支えている町会・自治会です。その粛々と活動を行う人々が地域に限り、町会・自治会は衰滅しないし、新しいことを進めていく中で、生き返っていきます。



## 第二部

## パネルディスカッション

第二部のパネルディスカッションでは、第一部講師の名和田教授をコーディネーターに迎え、町会長協議会を代表した4名の町会長がパネリストとして、各町会の抱える課題や現在の取り組みについて話し合いました。

笹本…本町中央町会では、会員のうち半数が商売をやっていることから異動もなく加入促進が難しいのが現状です。商店の定休日もばらばらで、加えて高齢化も進みなかなか町会行事への参加が難しいところですね。そのために、行事の開催日を一般会員や商店の会員に応じて日にちを変えたり、防災訓練では全員ではなく商店から1名の参加にしたり、途中で抜けてもらったりと臨機応変な対応と工夫によりうまくやっています。

市内全体の町会・自治会については、役員決めが難しいのが課題の一つですが、順番が決まっています。役員をやっているとあります。どの地域も市に協力し、地元のために頑張っている素晴らしい町会・自治会です。

- ◆コーディネーター◆  
名和田 是彦 氏  
(法政大学法学部教授)
- ◆パネリスト◆  
笹本 誠一 氏  
(福生市町会長協議会会長)
- 持田 洸 氏  
(福生市町会長協議会副会長)
- 佐藤 弘治 氏  
(福生市町会長協議会副会長)
- 活性化部会副会長  
高水 章夫 氏  
(福生市町会長協議会  
編集委員長)

入促進の際、お子さんがいる世帯に

は、芋堀りやキャンプ、夏祭りなどの子どもの年間行事のプログラムを具体的に提示すると、ほとんどの子育て世帯が加入します。また、町会会報を年2回発行し、行事だけでなく学校や医師の記事も掲載し、町会活動に参加できない方への情報共有も図っています。

佐藤…本町第二町会は72世帯の福生市で一番小さな町会です。役員が全員現役世代ということで、各々が得意分野で効率的に行動し課題解決をしているので、役員同士の信頼関係もあります。会員の方も役員の頑張っている姿を見て、積極的に行事等に参加してくれるようになりました。町会の抱える課題としては高齢化に伴う人手不足があり、現在、本町第一・第三町会との合併に向けて動いています。地域の見守りについては、役員が昼間いないので、組長や以前役員をされていた方などベテランの方の助けを借りていますが、将来高齢者や体の不自由な方が増え、見守る方がいなくなってきた時は、まだ具体的ではないですが、専門家をお願いすることも考えています。防災面では、訓練や知識の充実だけでなく、総会に諮ったうえで、世帯主だけでなく家族の生年月日や血液型や病気、普段飲んで

いる薬を三役が把握し、いざという時、すぐに対応できるような体制を構築しています。

高水…内出町会は、青少年育成地区委員会や子ども会と連携し、鯖つかみや防災訓練、盆踊りや運動会など地域に密着した活動をしています。行事には子どもからお年寄りまで多くの方が参加しますが、なかなかお父さんの参加が少なく顔が見えないのが現状です。是非、家族からもお父さんの背中を押して地域に根付くようにしてほしいと思います。また、今年は、市で指定している一時避難所である多摩工業高校と連携して合同防災訓練を始め、高校生にも協力をしてもらいました。今後も少しずつ付き合いを深めていきたいと思っています。名和田…協議会も独自の活動をしておられ、市の人口規模も多過ぎず、34町会・自治会というのも良い規模で、そういう面では動きやすいです。福生市に来たのは2回目ですが、学ぶところが多いすごい町会・自治会だと思います。是非、町会・自治会の底力を基礎にして今後も発展されますように祈念いたします。

紹介します

# 町会・自治会の活動

にぎわい

## 夏祭り

武蔵野町会

野島 康好

武蔵野町会は、昭島市(松原地区)に隣接している地域にあり、現在、国道16号の拡幅工事や、拝島駅南口周辺の昭島市都市計画整備等により生活環境が大きく変わっております。

町会の年間行事の一つに、7月末に実施し、大勢の人達が参加し交流できる「夏祭り」があります。

町会には各種団体として、5団体(二小PTA・一中PTAの支部、青少年育成地区委員会、福寿会(老人会)、パール会(婦人会))があります。お祭りが行われる7月の初旬に、町会役員、隣組長、各種団体役員と各種団体を交えて会合を開き、準

備からお祭り当日の役割分担を決めていきます。2週間位前になると、大人たちは、万灯の花、燈籠、団扇づくり、神輿、万灯の組付けを行い、祭り会場となる武蔵野橋公園内には舞台とテントを設営します。子ども達は、指導者の下で本番を盛大に盛り上げるために、昼間はお囃子、お神輿、太鼓、夜になると盆踊りの練習を行います。

お祭りの当日、武蔵野会館から出発し、神輿巡行を終えた子ども達に町会発行の子ども券を配ります。子ども達はその券でヨーヨー釣りやかき氷等と引き換え、お祭りを存分に楽しみます。中でも一番楽しみにしているのが抽選会のクジです。クジに当たった子、外れた子が一喜一憂し、公園内は子ども達の賑やかな声であふれます。お祭りを通して「人と人とのふれ

あい「支えあい」で会員相互の交流や親睦の輪が広がりました。今後も、ふれあえる・支えあえる町会で在りたいと思います。



福生市はソフトボール競技(成年女子)の開催地です!

東京に 多摩に 島々に 羽ばたけアスリート

### スポーツ祭東京2013

第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会

ゆりーと

競技期間：平成25年9月29日(日)～10月1日(火)

競技会場：福生野球場・市営競技場

広告掲載スペース

# 支えあい 地域の和と 防災



毎年8月に行われています総合  
防災訓練で、今年は発災型防災訓  
練を行いました。

加美地区の場合は、第一町会・第  
二町会と2つに分かれています。第  
一町会・祭礼・運動会等、町内の行  
事は地域の和として一緒に行ってい  
ます。

昨年の3・11(東日本大震災)の  
ように大災害が発生した場合、加  
美地区は第一町会・第二町会と協力  
して活動に当たります。

今回の訓練においても気温が34  
度近い中、参加者がまじめに一生懸  
命訓練を行っていました。

これは、地域に住む人たちの防災  
意識が高まっている証拠だと思いま  
す。そして、加美という地域に住む  
人たちが支えあい、協力できる温か  
い人間関係を築くことができれば、  
さらに地域の防災や行事も益々盛  
り上げることができると思います。  
このような町会活動に皆様も参  
加してみませんか?  
最後に、今回の訓練におきまして

は福生消防署、福生第五分団、ボラ  
ンティアの方々にご支援・ご協力を  
頂き誠にありがとうございました。



## にぎわい 合同 餅つき大会

本町第六町会  
清水 誠二

私たち本町第六町会は、福生第一  
小学校の裏側に位置する町会です。  
現在、町会の全世帯数は309世  
帯、加入率は43%を占めています。  
町会としては小さな規模ですが、町  
会の活動には、若い人からお年寄り  
まで広い世代の会員の方が参加す  
るため、にぎやかで充実したものと

なっています。

行事には町会主催と市主催の両  
方がありますが、町会が自主的に  
行っているものとして、月2回と年  
末に行う防犯パトロールがあります。  
また、町会の活動を紹介する会報  
『本六通信』の発行なども行ってい  
ます。

そのような活動の中で、特ににぎ  
わいを見せるのが、今年で27回目と  
なった本町中央町会との伝統ある  
「合同餅つき大会」です。今年は1月  
29日(日)に本六会館の庭にて開催  
しました。合同行事の経緯は、両町  
会ともに小さい町会で、人数も少な  
いことから、青少年育成地区委員会・  
小学校PTA・中学校PTAと町



会が支援して、地域活性化のため  
多くの方が交流できる場として楽  
しめるように始めたことがきっかけ  
です。

毎年、子供からお年寄りの方まで  
100名近くの方にご参加いた  
だき、世代間の交流の場となってい  
ます。また、つきたてのお餅で、お年寄  
りが若い世代に大福やあべかわ餅  
等の昔ながらの作り方を教える場  
でもあり、両町会にとって大切な町  
会行事となっています。

このような行事を通して、本町中  
央町会とは長い間家族ぐるみでお  
付き合いさせて頂いており、これか  
ら人も人との「つながり」と「ふれ  
あい」の場として合同餅つき大会を  
続けて行きたいと思っています。

# 町会・自治会の 地域を守る活動

8月末、市内で総合防災訓練が行われました。大震災を想定して、自主防災組織が市内各所に集まり避難や救助などの訓練を実施しました。



## 自主防災組織って？

自主防災組織は地域ぐるみでお互いに協力して防災活動に取り組む組織のことです。町会・自治会単位で構成しています。

## 自主防災倉庫

災害時に必要となる工具や機械、応急用具、また、避難生活に必要な毛布などの備品を備えています。

## どんな活動をしているの？

防災訓練の実施の他に、防災知識の普及や啓発活動、地域内の安全や災害時に使用する設備の点検等を行っています。

町会・自治会では、その地域の特徴に応じた防災訓練を実施し、自主防災倉庫の場所や公衆電話の場所等を確認、災害時に与えられている役割の実践を行っています。大震災が発生した場合、被害を少なくするためには、個々の行動だけでなく地域住民の協力が大切です。日頃からの地域内での知り合いを増やし、いざというときにお互いが自然に助け合いや協力のできる環境を整えておくことが必要です。

## 町会・自治会って？

町会・自治会は、地域にお住まいの方で組織する、より住みよい地域づくりを指して活動している自主的な団体です。現在、市内には34町会・自治会があり、地域に住む人たちが、お互いに「支えあい」ながら、まちに「うるおい」や「にぎわい」をもたらす、さまざまな活動を行っています。

## 町会・自治会に加入すると…

地域の人たちと顔見知りになり、非常時にも大きな効果を発揮するだけでなく、高齢者や体の不自由な方の見守りなど、地域の事件や事故を未然に防ぐことにつながります。

## どうやって加入するの？

お住まいの地域の町会・自治会にご連絡ください。町会・自治会がわからない場合は協働推進課(電話551・1590)までお問い合わせください。

## うるおい

- 運動会、ラジオ体操、市民総合体育大会への参加など地域住民の健康づくりを進める活動
- 敬老会、募金活動など福祉に関する活動

## 支えあい

- 防犯パトロール、災害時に備えた自主防災組織の運営、防災訓練など地域の安全安心を守る活動
- あいさつ運動、声かけ運動など子ども達の健全育成に取り組む活動
- 資源回収、町内清掃、花いっぱい運動など、まちを美しくする活動

## にぎわい

- 夏祭り、盆踊り、もちつき大会、その他町会・自治会独自のイベントの主催

平成24年11月  
編集委員長  
編集委員

- 高水 章夫
- 北村 良之
- 福原 敬三
- 堀江 秀夫
- 小澤 芳輝